

請願第12号

日本政府に対して核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書提出のための請願

賛成討論

12月議会で同条約の署名・批准を求める意見書の提出を求めた「深谷市民平和のつどい」実行委員長の請願の紹介議員の立場から賛成討論する。

まず、この請願に関して報告したところ、みな非常に喜んでいて、2006年の平和都市宣言、昨年9月の第一回深谷市民平和のつどい、それから12月の署名批准を求める意見書の提出など、これらの粘り強い活動が今回の請願につながったことでみな喜んでいて。

いくつか声を紹介したい。深谷市民にとって画期的なことである。平和な未来を子供たちに残してほしい。ある平和活動家の声として「戦争は嫌だけど黙っている人たちから、戦争は嫌だけど発言する人になってほしい」。

これらの声を受けて、この請願に関して賛成する。

小林 真

日本は、世界で唯一の戦争被爆国である一方、核保有国であるアメリカの「核の傘」の下にある国でもある。だからこそ、核保有国と非保有国の双方の立場を理解し、その橋渡し役として核軍縮を進めていく重要な役割を担っていると考える。

核兵器禁止条約は、日本の国是である非核三原則の考え方を世界に広げ、核兵器のない世界を目指すための大きな一歩である。将来的な批准に向けた環境整備や核保有国・非保有国との対話促進のためにも、まずは核兵器禁止条約再検討会議へのオブザーバーとして参加し、建設的な議論に加わるのが重要であると考え。以上のことから、国に対しオブザーバー参加を求める意見書を提出することに対し賛成の立場とする。

繫 由香

これまでも核兵器禁止条約に関する請願に対し、オブザーバー参加を求めることについて、賛成の立場で意見を言ってきた。今回の請願は、まさに2021年1月22日に発効した核兵器禁止条約の第1回再検討会議が開催されるに当たり、オブザーバー参加を求める内容である。唯一の被爆国として積極的な貢献を果たすとともに、中長期的には日本が批准できるような安全保障環境をつくり出していくべきと思うので、本請願には賛成とする。

五間 くみ子